

救助・救出訓練

地震により倒壊した家屋やブロック塀等の下敷きになった被災者を助ける



救助・救出方法

- ◆ボールや木材等をテコにして人形の下に隙間を作る
- ◆ジャッキ等を使用し、障害物を持ち上げる

救助・救出活動で大切なこと

- ◆一人で行わず、近隣に声をかけ皆で協力して実施
- ◆救助者に危険が及ばぬよう、活動場所の安全を確保
- ◆活動全体を見渡せる人を配置し、危険を予知した時は大きな声で皆に伝える
- ◆被災者の負荷が増えないよう、細心の注意を払う

⚠ クラッシュ症候群に注意

家屋等の重量物に長時間挟まれていた後に救助された傷病者が、数時間を経て腎不全や急性循環障害（ショック）を生じて死亡する病態。傷病者が救出された時には、同症候群を予知し早期から適切な管理を開始することが重要であるが、被災地では集中治療や透析のためのエネルギーや大量の水確保は困難が予想される。

躊躇せず、傷病者を早期に危険な場所から**被災地外へ搬送**することが必要

出典：一般社団法人日本内科学会HPより抜粋